



ニガナ(キク科) 黄色い舌状花が5個あり、葉は細長くて茎を抱く。



ヤブタビラコ(キク科) 舌状花が約20枚ある。



キツネアザミ(キク科) 花の上部が紅紫色となる。



ウラジロチチコグサ(キク科) あまり分枝しない。葉裏が白い。



オオキンケイギク(キク科) 葉は倒被針形で、舌状花も筒状花も黄色い。繁殖力が強く特定外来生物。



ナワシロイチゴ(バラ科) 花は紅紫色で開花時も花弁は閉じている。



コメツブウマゴヤシ(マメ科) 高さ30センチ以上となり、花は20～30個集まって咲く。



コメツブツメクサ(マメ科) 高さ20センチぐらいで、花は5～50個集まって咲く。



ミゾコウジュ(シソ科) 初夏に淡紫色の唇形花を密に咲かせる。準絶滅危惧種。



ギシギシ(タデ科)(左)の葉は基部が丸く、スイバ(タデ科)(右)は基部が鋸形で茎を抱く。



カキネガラシ(アブラナ科) 細長い枝がからみあい、小さくて黄色い花を枝先につける。



アレチギシギシ(タデ科) 枝が横に張りだし、葉は縁が波打ち、花はまばら。



ウシハコベ(ナデシコ科) 葉の縁が波打つ。



アメリカフウロ(フウロソウ科) 葉は深裂し花は白、果実は種子の袋に槍が突き出た形。



ツメクサ(ナデシコ科) 鳥の爪のような葉と白い5弁花をつける。



コマツヨイグサ(アカバナ科) 花は淡黄色で小さい。



ヒルザキツキミソウ(アカバナ科) 花は直径約5センチで、花弁の基部は筒状となっている。



オヤブジラミ(セリ科) 茎や葉、果実の刺毛が赤味を帯びる。



フタリシズカ(センリョウ科) 白い穂が約2本立ち上がる。



ヨツバムグラ(アカネ科) 葉は4枚輪生し、葉腋に淡緑色の小さい花をつける。



コナスビ(サクラソウ科) 茎に軟毛があり、黄色い5弁花が咲き、球形の蒴果がつく。



コモチマンネグサ(ベンケイソウ科) 種はできず、葉の基部につく珠芽でふえる。



ヤブジラミ(セリ科) 果実は長楕円形で刺毛が密生し、衣服などにつく。



ツルマンネグサ(ベンケイソウ科) 葉は長楕円形で、花をつけない茎は紅色で地をはう。



コヒルガオ(ヒルガオ科) 葉の基部が耳状に横に張り出す。(ヒルガオは斜め後ろ)



ホソムギ(イネ科) 小穂が花茎に密着するように互生する(互い違いに生える)。



ケイヌビエ(イネ科) 互生状に枝分かれしてできる小穂に長い芒が生える。



ネズミムギ(イネ科) 扁平な小穂が斜め上向きに互生する。



カモジグサ(イネ科) 垂れ下った茎から小穂が交互に開き、紫褐色の芒が出る。



ノゲイヌムギ(イネ科) 柄のついた扁平で大きな小穂が多数つく。



アオカモジグサ(イネ科) カモジグサに似ているが、小穂は緑色で、ばらけない。



スズメノカタビラ(イネ科) 花序の枝は1, 2本ずつ出る。



オオスズメノカタビラ(イネ科) 花序の枝は
4~6本半輪生し、茎は少しざらつく。



ナガハグサオ(イネ科) 茎が滑らかで、全体が
オオスズメノカタビラより少し小型。



ミゾイチゴツナギ(イネ科) 弓なりの茎から
長い枝が垂れ下がり、ざらつく。



トボシガラ(イネ科) 垂れ下がった茎から小穂が
あまり離れずにつく。



カモガヤ(イネ科) 扁平な淡い白緑色の小穂が
密集し、多量の花粉をまき散らす。



ヒロハウシノケグサ(イネ科) 細長い円錐状に多数の
小穂がつく。葉耳のふちは無毛。



スズメノチャヒキ(イネ科) 垂れ下がる小穂は披針形
でやや丸い。



ヒメコバンソウ(イネ科) 三角状卵形で淡緑色の
小穂が多数垂れ下がる。



クサヨシ(イネ科)円錐形で緑色の花序が直立する。小穂は扁平な卵形。



ヒゴクサ(カヤツリグサ科) 頂小穂は雄性で細長く、側小穂は雌性で長楕円形。



アゼナルコ(カヤツリグサ科) 円筒形の花穂が鳴子のように数個ぶら下がる。



カワラスゲ(カヤツリグサ科) 鱗片に覆われた細長い穂が数本出る。



クサスゲ(カヤツリグサ科) 茎先に細い雄小穂、その下に短い雌小穂がつく。



カズノコグサ(カヤツリグサ科) 花茎から互生する短い枝の片面に淡緑色の小穂をつける。



ゴウソ(カヤツリグサ科) 茎先の細い雄小穂の下に円柱形の雌小穂が数個ぶら下がる。



ノビル(ユリ科) 長い茎先に淡紅紫色の花を数個つける。



アマドコロ(ユリ科) 先が緑色を帯びた白い花が下向きに咲き、茎が角張っている。



トベラ(トベラ科) 葉は光沢があり、枝先に白い香りの良い5弁花をつける。



ホウチャクソウ(ユリ科) 筒形の白い花がぶら下がる。



ハコネウツギ(スイカズラ科) 花は鐘形で紅と白がまじる。



イ(イグサ科) 高さ1メートル弱で、茎の途中に花があるように見える。



ハクウンボク(エゴノキ科) 総状花序に花冠が5深裂した白い花を多数つける。



ホオノキ(モクレン科) 葉は靴より大きく、直径約15センチの白い花が咲く。



ヤマボウシ(エゴノキ科) 白い大きな総苞片がめだち、中央に数十個の花が集まる。



ニセアカシア(マメ科) 白い蝶形花が総状に咲く。



オニグルミ(クルミ科) 葉は奇数羽状
複葉で、雄花の柱頭が赤い。



ベニバナトチノキ(トチノキ科) 淡紅色の花が
多数咲いた大きな円錐花序をつける。



センダン(センダン科) 葉は奇数羽状複葉で、
薄紅色の花に芳香がある。